

横浜市交通局ブルーラインの脱線事故について (令和元年6月17日現在)

- 1 発生日時 令和元年6月6日(木) 5時22分頃 天候晴れ
- 2 場所 1号線(ブルーライン)
上り 下飯田駅～立場駅間 (17k896m 神奈川県横浜市泉区)
- 3 列車 湘南台駅5時20分発あざみ野駅行き532a列車(6両編成)
- 4 負傷者 1名(当該列車の乗務員が膝の打撲。
事故後に肩の痛みを申し出ていたお客様は受診されませんでした。)
- 5 原因 直営保守作業員による横取り装置の点検終了後に、本線レール上にかけた横取りレールを所定の位置に戻し忘れ、その上に列車が乗り上げたため。(詳細は確認中)

6 概要

当該列車は、下飯田駅を立場駅に向けて出発後、走行中に激しい衝撃を受けたため、非常ブレーキを投入し停車した。24軸のうち先頭1両目から5両目までの車両の9台車18軸が脱線していた。なお、衝撃感知時の速度は、運転記録によると約55km/hであった。

7 経緯

【復旧作業の経緯】

- | | | |
|----------|----------|---|
| 6月6日(木) | 15時25分 | 運輸安全委員会の指示で車両を移動した際に、横取り装置に乗り上げた2号車が本線レール上に復帰 |
| | 16時33分 | 運輸安全委員会の調査終了後、6月9日始発からの運行再開を目指して復旧に着手 |
| 6月7日(金) | 19時00分現在 | 3、6号車のレール上への引き上げ完了 |
| 6月8日(土) | 12時30分現在 | 4、5号車の復旧が難航し、「9日始発からの運行再開を断念」 |
| | 20時29分 | 5号車のレール上への引き上げ作業完了 |
| 6月9日(日) | 12時54分 | 脱線車両5両全てのレール上への引き上げ作業完了 |
| 6月10日(月) | 2時00分 | 軌道工事及びサードレール復旧工事完了 |
| | 7時30分 | 事故車両を湘南台駅2番線に留置完了 |
| | 10時00分 | 運行本数を減らし暫定的に全線運行再開 |
| 6月11日(火) | 2時45分 | 事故列車を湘南台駅から上永谷車両基地に格納。 |
- 始発から全線通常ダイヤによる運行開始

【ブルーライン復旧作業従事者】 延べ約1,910人(うち当局950人、他社960人)

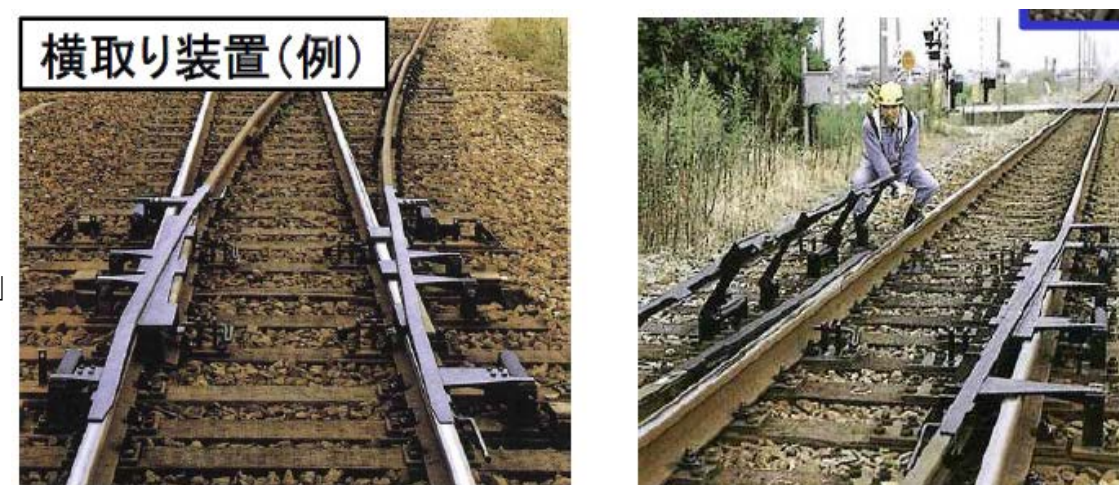
JR東日本、東急電鉄はじめ全10社のご協力のもとで復旧工事を進めた。

【ブルーライン不通に伴う影響人数】 24万5千人(6月6日(木)始発～6月10日(月)10時00分まで)

この間、振替輸送とともに、6月6日(木)10時30分頃から、踊場駅～いずみ中央駅(相鉄いずみ野線)間を結ぶ、代行バス輸送を実施(1920便、約3万5千人輸送)

8 事故に対する調査・報告等

- 6月6日(木) 本事故に対して国土交通省より警告書を受領
 - 6月7日(金) 国土交通省へ横取り装置に関する対策を報告
 - 6月12日(水) 国土交通省鉄道局長・審議官はじめ関係部署へ謝罪、報告
- 交通局で事故調査委員会を設置し、引き続き事故原因の検討と再発防止策を検討。



横取り装置は、分岐器を用いずに保守用車(工事用車両)などを他の軌道上に移動させるための装置

